

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第3号と第4号については最新の台風予報を参照。
- 期間を通して、太平洋高気圧が西日本に張り出す。
- 8日から10日は、低気圧がオホーツク海からカムチャツカの東に進む。

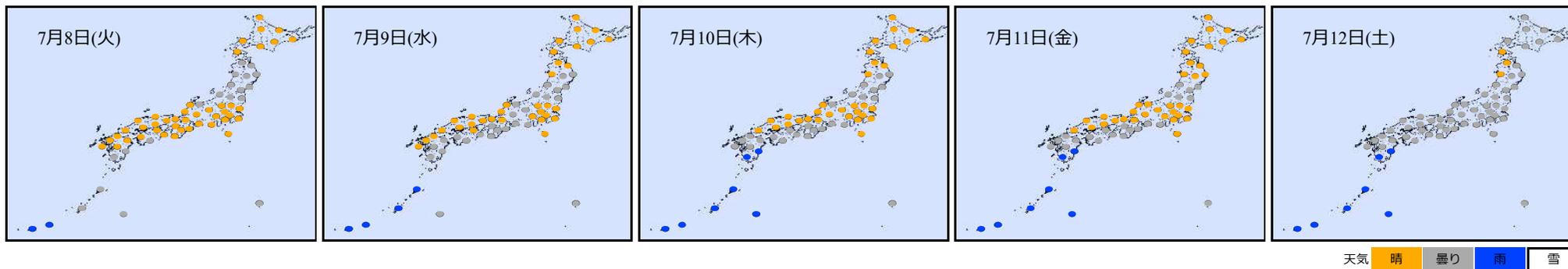
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 全国的に気温がかなり高くなり、最高気温が35度以上となる所がある見込み。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

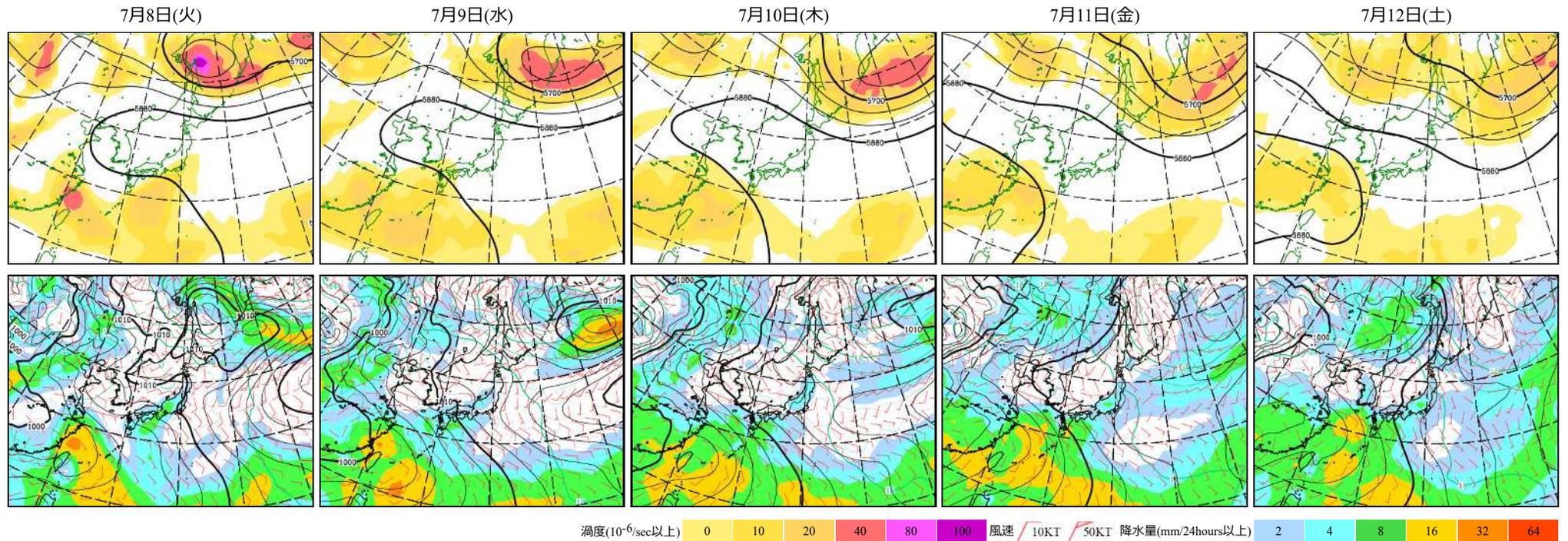
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

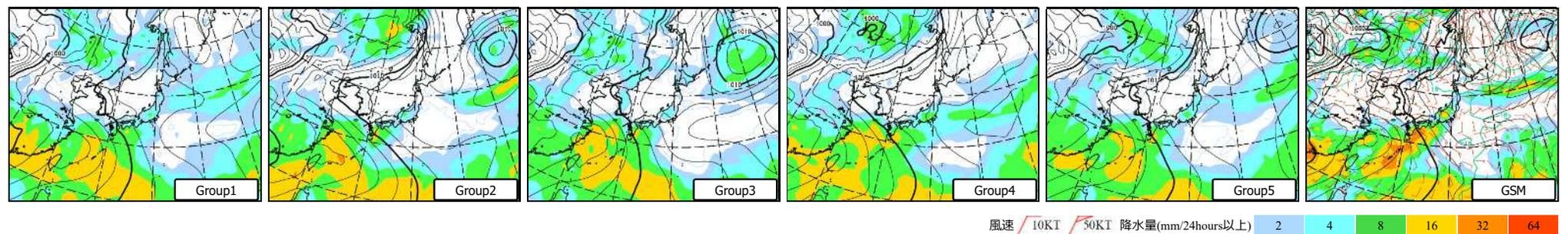


- 北日本と東日本、西日本日本海側は、晴れや曇りの日が多い。
- 西日本太平洋側は、8日は晴れる所が多いが、9日以降は曇りの日が多く、10日から12日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆7月11日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、日本の東の高気圧の日本付近への張り出しが10日以降強くなり、11日の日本海の高気圧が強まった。
- 降水確率ガイダンスは、8日に東日本、西日本、沖縄・奄美で高くなった。
- スプレッドは期間を通して比較的小さいが、千島の東のトラフや東シナ海の熱帯じょう乱のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。